

「使用済み・インスリン注射針」のトイレ内放置と ゴミ回収時に気をつけないといけない注意事項です！！



「トイレ内の使用済み注射針の放置やゴミ箱への廃棄にご注意！！」

在宅医療の推進により、糖尿病の患者さんが外出先でインスリンを投与され、その注射針が剥き出しのまま目立たない状態での放置や、ゴミ箱に投棄される事例が多数報告されています。特に当社で清掃作業を担当される皆さんには十分な注意が必要であると考え、安全を優先するための注意事項をあげます。どうか、細かなことですが各常駐者現場での共通意識をもって相互に対処頂くことをお願いします。リスクとして、注射針の空洞部分にたまった血液が、刺し傷から体内に入り込むことにより、B型肝炎、C型肝炎、HIVなどの血液由来の感染症にかかる可能性があります。



「不用意にゴミ袋を手や足で押し込むことは？」

さて、ゴミ袋を手や足で押し込むことはどうでしょうか？一番心配するのは、捨てられた使用済み注射針がビニール製のゴミ袋を突き破り、運ぶ清掃作業員の手や体に刺さることになり、肝炎などの感染リスクがあります。



「ゴミ袋を体で密着させて運ぶことは？」

もし、ゴミ袋から使用済み注射針がビニール製のゴミ袋を突き破ったままの状態を気づかずに、体に密着させて運ぶことはどうでしょうか？このケースでは、使用済み注射針がビニール製のゴミ袋を突き破っていることを知らずに運ぶ、清掃作業員の手や体に刺さることになりかねません。やはり、体からはなして運ぶことによってリスクは回避されます。



「特に捨てられている可能性の高い場所は？」

当社の管理現場では、不特定多数が利用するトイレやホテルの客室など個人空間になりえる場所に捨てられる危険性があります。



「使用済み・インスリン注射針を見つけた時は？」

直接触れないようにしてください。ピンセットなどを利用して処理してください。



「使用済み注射針で刺したときは、どのような処置をしたら良いのでしょうか？」

まずは、刺した部位の血液を手で押し出し、流水で洗浄し、担当者に報告したうえで、病院で受診するなど、医師の判断に従いましょう。



「日頃から注意しなければならないことは？」

ゴミ処理のときは、素手で作業しないようにしましょう。また、使用済み注射針ばかりでなくガラス破片などの混入があります。十分に注意してください。



全国ビルメンテナンス協会からの注意喚起チラシです

当社のクリンネス現場へは、すでに配付していますが、詳しく知りたい方は全国ビルメンテナンス協会HPからダウンロードできますので、ご参照ください。

建築物維持管理関係者の皆様へ

使用済み・インスリン注射針にご注意ください！！

在宅医療の推進により、患者さん自らが家庭や外出先でインスリンを投与することが多くなっています。そのインスリン投与に使われた注射針が、オフィスビル、ホテル、ショッピングセンター、空港など多数の方が利用される場所に不適切に捨てられているケースがあり、ビルメンテナンス会社の清掃従事者がその針で身体を刺す事例が報告されています。

※全国ビルメンテナンス協会HPより



「当社の障がい者雇用の現状について」

現在、当社では若干名の障がい者の方の雇用をしています。これは法律にそって決められているものです。また、社会貢献（CSR）上からも社会的公器である「会社」としての責任から一層の障がい者雇用が求められていることは周知の状況です。



「現在行っている新たな障がい者雇用に応じた対応について」

当社・総合戦略部では、障がい者の自立支援するNPO法人との連携を取るべく取り組んでいます。このNPO法人では、障がい者の職業準備訓練を行っており、事業所での実際の作業現場を再現した中で、いろいろな作業の取り組みを通じて就職するうえで必要な労働習慣、作業遂行能力、作業態度などを身につけるよう教育・訓練を行っています。

「今後の就業までの流れについて」

当社にとっても就業を予定される障がい者の方にとっても、このようなことは初めての経験であり、予定としては6ヶ月程度の準備期間を設けて万全を期すつもりで考えています。

「具体的な流れについて」

まずは、職場見学や職場実習を行うことにより働くことに対する意識・意欲を高めるような機会を設けます。その後、面接等を経て入社に至ります。

「就職後の就業支援の流れについて」

NPO法人の方が定期的に職場訪問をしていただき、安定した職場生活が送れるように支援していただきます。また、日常生活についても障がい者の方の支援をしていただけます。

「当社とのNPO法人及びハローワークとの連携について」

この障がい者雇用に関して、ハローワークとの連携による支援もあります。これは、障がい者雇用についての研修会の開催や、具体的な作業の提案、雇用に関する各種制度の案内もいただけます。

「社員の皆さんやお施主の皆さんにお願いしたいことがあります！！」

当社・総合戦略部では、一つ目には、当社としての社会貢献。二つ目には、高齢化が著しい管理現場における作業補助。三つ目には、人手不足を補っていただくことです。実際には難しいことではありますが、絶対的必要要件として、皆様のご理解とご協力無くしてはなりません。私どもも最大限の努力をいたします。どうか、よろしくをお願いします。

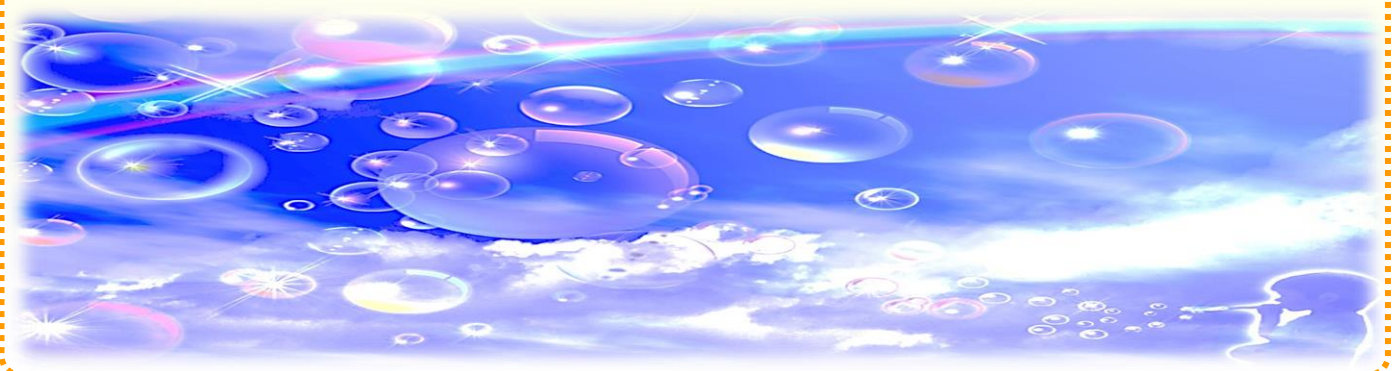


十月中旬、あるベンチャー企業集団を訪問した。目的は、バイオに関する計器開発だ。まだ、構想段階で発表するには早々だが、少しだけ問題ないと思われる範囲で説明する。

私たちは、「脱洗剤」「脱汚水」「脱悪臭」をキーワードとして、関連する技術開発をして来た。これにより、思わぬ二次的な成果もあり、やってみて初めて分かることに感動を覚え、協力頂く研究機関や企業のコラボによる斬新な発想も、小さな進歩だが成果物として今日に至っている。今回の企業訪問はまさに「やろうとしていることを、マッシュアップ(組合せ)によって、実現していこう」という新たな未来への遭遇だった。

このベンチャー企業とは、休日のテレビ番組を見たことに始まり、早速、問い合わせたところ、会ってくれるという快諾を得ることができた。そこで、お互いに日程を調整し、訪問する運びとなった。問題は、私たちの考えや方向性が理解されるか？どうか難しいことだ。何故かと言えば、話してみても専門外であるとか、会ってくれたものの、鼻から断ろうという意思をもって面談に望まれることだ。幾度となく挫折も経験したが、経験が経験を豊かにして、交渉に臨むことができるように私たちは賢くなった。さて、今回のポイントは、センサー技術という私たちにとり非常に縁遠い物であった。が、しかし、話すうちに、さほど難しくないとの答えを導くことができた。現状ここまでしか話せないが、徐々に報告できればとの展望が開けてきた。今後の進捗を楽しみに！！

(悪臭退治)



編集後記

選挙が終わり、株価も引き続き上がり、経済の活況に期待する社会の願望は強い。かつて、超氷河期と言わしめた就職環境は、突然人手不足となり、その有効求人倍率の上昇に目を疑う。これからの雇用方法や技術革新に目新しい何かを探すべく、日々の情報収集に目を凝らし、耳を立てての繊細さが我々に必要だろう。さて、総合ビルメンテナンス業とは何だろうか？という声が業界全体で上がっている。他人ごとでは無い。(口)